

平成27年 3月18日  
北九州市港湾空港局物流振興課

### マレーシア国ビンツル港湾局長の表敬訪問

北九州港では、マレーシア国ビンツル港湾局長による表敬訪問を受けました。

ビンツル港は、マレーシア国運輸省傘下にある7つの連邦港の一つで、重要な物流拠点に位置づけられています。液化天然ガス（LNG）の積出港であり、マレーシア国営企業ペトロナスが世界最大級のLNG生産基地を設置しています。北九州市若松区に立地している「ひびきLNG基地」には、昨年7月以来、ビンツル港から大型LNG船が寄港しています。

また、北九州港では、海洋環境の保護を目的とする「グリーンアワード・プログラム」に参加し、認証LNG船を対象に優遇措置を設けています。こうしたことに加え、環境に対する本市の取り組みが評価され、今回の訪問につながったものです。

### 記

1 日時 平成27年2月25日（水）14：00～16：00

#### 2 対応

- (1) 訪問者：マレーシア国ビンツル港湾局 ハムダン・ビン・アブドウル・ハミッド局長 他6名
- (2) 対応者：北九州市港湾空港局 橋本哲治局長 他7名
- (3) その他参加者：グリーンアワード財団 ヤン・フランセン理事長 他1名

#### 3 内容

##### (1) 表敬対応

- 港湾空港局庁舎において、ビンツル港湾局長以下による表敬訪問を受けました。
- 橋本哲治港湾空港局長からは、北九州港の紹介に加え、環境問題に対する北九州市の取り組みを紹介。ちょうど来日中だったグリーンアワード財団も加えた3者で意見交換を行いました。
- 最後に、記念品交換、記念撮影を行いました。

##### (2) 北九州港視察

- 太刀浦コンテナターミナル（門司区）にて、相良明夫物流振興課長が北九州港のコンテナ航路・貨物量の概要を説明し、展望室からターミナルの施設紹介を行いました。

#### 4 ビンツル港の概要

- ボルネオ島にあるサラワク州ビンツルに位置し、開港は1982年。
- マレーシア国政府直轄の港湾で、沖合いで採取されるLNGの輸出拠点として発展してきた。
- 2012年の貨物取扱量は4,116万トンで、そのうちLNGが2,353万トンを占める。

#### 5 「グリーンアワード・プログラム」の概要

- 「グリーンアワード・プログラム」とは、安全で環境にやさしい船舶をグリーンアワード財団が

認証し、その認証船舶に対して参加港湾が優遇制度を与えることで、船舶・船員の質を向上させ、海洋環境の保護を目指すことを目的とする制度。

- 北九州港ではクリーンエネルギーであるLNGの取扱量の増大が見込まれる中、環境未来都市・北九州市にふさわしい港として、より安全で環境にやさしい海運を促すため、LNG船を対象に当該プログラムに参加した。昨年11月から参加したが、日本及び東アジアでは初。

## 6 表敬訪問時の様子

	
<p>橋本局長挨拶</p>	<p>記念盾の授与</p>
	
<p>記念撮影</p>	<p>太刀浦CT展望室での説明風景</p>